

令和 7 年 5 月 2 0 日

令和 6 年度 特別の教育課程の実施状況等について

学 校 名	管理機関名	設置者の別
奈良県立国際高等学校	奈良県教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
奈良県立国際高等学校	https://www.e-net.nara.jp/hs/kokusai/index.cfm/7,0,33,143.html

※必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
奈良県立国際高等学校	https://www.e-net.nara.jp/hs/kokusai/index.cfm/6,47,29,1.html	https://www.e-net.nara.jp/hs/kokusai/index.cfm/6,47,29,1.html

※必要に応じて行を追加すること。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

☒ 計画通り実施できている

☐ 一部、計画通り実施できていない

☐ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

☒ 実施している

☐ 実施していない

<特記事項>

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本校は、教育目標として「多様な人々との積極的なコミュニケーションを通してグローバルな視点でものごとを捉え、国際社会の平和と発展に貢献する資質・能力を育成する。」を掲げ、その具体として6つの育てたい力（探究力、創造力、キャリアデザイン力、挑戦力、協働力、寛容さ）を生徒に示し、その実現に向けて教育活動を実践している。

科目「情報Ⅰ」の「効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。」「様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。」「情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。」という3つの目標は、本校の育てたい6つの力に包含されるものであり、具体的には、学校設定科目「グローバル探究」の中で培われるものであると考え、実施している。

「グローバル探究」において、生徒は探究活動の中で、情報の積極的な活用及び報告・発表等の機会を通して、効果的なコミュニケーションの方法を習得できていることから、目標が達成されているといえる。

課題としては、SNSを用いた安易な個人情報の漏洩なきよう、情報を保護することの必要性和法規及び個人の責任への理解を今後さらに深めさせることが挙げられる。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

学校教育法に示されている「豊かな人間性」は、本校の育てたい力の「協働力」「寛容さ」に、「創造性」は「創造力」に、「個性に応じて将来の進路を決定させる」は「挑戦力」及び「キャリアデザイン力」に、そして「社会についての広く深い理解」は「探究力」に、それぞれ合致している。また、学校教育法の「社会の発展に寄与する」人材の育成は、本校の「国際社会の平和と発展に貢献する資質・能力」の育成を目指す方向性と軌を一にするものである。

4. 課題の改善のための取組の方向性

教科「情報」が2025年度より共通テストに出題されており、「グローバル探究Ⅰ」の中で、情報分野担当者の役割をより明確化し、教科「情報」の指導計画を「グローバル探究」の指導計画の中に示すようにしている。

令和 7 年 7 月 3 0 日

令和 6 年度 特別の教育課程の実施状況等について

学 校 名	管理機関名	設置者の別
奈良県立法隆寺国際高等学校	奈良県教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
奈良県立法隆寺国際 高等学校	https://www.e-net.nara.jp/hs/horyujikokusai/index.cfm/1,0,77,html

※必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
奈良県立法隆寺国際 高等学校	https://www.e-net.nara.jp/hs/horyujikokusai/index.cfm/1,47,c,html/47/20250304-100609.pdf	

※必要に応じて行を追加すること。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

☒ 計画通り実施できている
☐ 一部、計画通り実施できていない
☐ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

☒ 実施している
☐ 実施していない

＜特記事項＞

本校は UNESCO(国連教育科学文化機関)からユネスコスクールの認定を受けており、令和6年度は、研究発表の機会である「ユネスコフォーラム」を通して、保護者及び連携している大学の先生方等を招き、活動の成果の公表を行った。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別的教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

「歴史総合」「日本史探究」を基礎とし、歴史と文化に関する学校設定科目を学び、「課題研究」等での調査活動や研究発表を通して、本校の教育目標である「自ら学び、考え、実践できる次代の担い手となり、社会に貢献できる人間の育成」を目指している。さらに、様々な学習を通して実習やフィールドワークを行うことで、多様な学びの場を設けている。今後さらに研究発表の質を向上させる必要があると考える。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

「歴史総合」「日本史探究」を基礎として、歴史と文化に関する学校設定科目を学ぶことにより、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を養っている。それにより、豊かな人間性、創造性を養い、専門的な知識や技能を習得し、社会について理解を深め、その発展に寄与する態度を身に付けることができる。今後、生徒による更に主体的、積極的な取組を目指していきたい。

4. 課題の改善のための取組の方向性

生徒の調査活動や研究発表の一層の質の向上をはかるために、生徒相互の討論や議論の機会を増やし、互いに意見を述べ評価し合って学習意欲を高め、討論に十分対応できる知識と考察力、判断力を身に付けるよう学習活動を充実させる。また、それによって生徒がより主体的、積極的に取り組むようにしていく。